

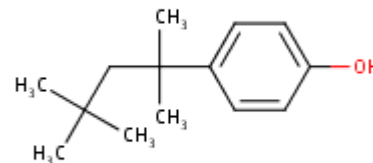
初期評価プロファイル (SIAP)

4 - (1,1,3,3 - テトラメチルブチル)フェノール

物質名 : Phenol,4-(1,1,3,3-tetramethylbutyl)-

化学式 : C₁₄H₂₂O

CAS No. : 140-66-9



結論と勧告

本物質は現在のところ追加の作業が必要と考えられる。

結論と勧告を裏付ける理由の概要

スイスでは 1993 年に 377 トンの 4-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェノール (OP) が製造または輸入された (輸入量は129トン)。米国の生産量は控えめな推定で5,400~32,200トン/年といわれている。OPはフェノールとジイソブチレンの触媒反応により製造される。OP はリアクターから貯蔵槽まで、さらにそこから加熱した鉄道タンク車まで直接パイプにより輸送される。大部分の OP が樹脂、非イオン界面活性剤、ゴム添加剤の製造の中間体として使用されるようである。

OP は生分解される。天然水の表層では 1 日以内に 30%の OP が分解される。OP は水生生物に対して高い急性毒性を持ち、水環境中で長期の有害性影響を生じるようである。入手できたばく露データによる環境有害性評価から、OP が水圏に対してリスクを及ぼす可能性が示される。このリスクの主な理由は OP 自体ではなく、水環境中で分解されて OP に戻る可能性のあるocthylphenol-ethoxylate の作用による。

OP はヒトの健康に対して急性毒性を持たないが、皮膚に対してわずかな刺激性を持ち、眼に対しては高い刺激性を持つ。本物質は遺伝毒性を持たないが、皮膚の色素脱失を生じることがある。in vitro 試験で、OP は 17-B - エストラジオールをその受容体から競合的に移動させるようであり、エストロゲン依存性細胞の増殖を促進することが示された。

OP はヒト健康の懸念の原因とはならないことが、入手できたデータから示唆される。

勧告される追加の作業の性質

確認された懸念の評価を行うための更なる試験またはばく露情報の解析。

OECD HPV Chemical Programme内でのノニルフェノール (CAS No. 84852-15-3及び25145-52-3) のアセスメントが考慮されるべきである。

[著作権および免責事項について]

[著作権]

本資料の著作権は弊センターに帰属します。引用、転載、要約、複写 (電子媒体への複写を含む) は著作権の侵害となりますので御注意下さい。

[免責事項]

本資料に掲載されている情報については、万全を期しておりますが、利用者が本情報を用いて行う一切の行為について、弊センターは何ら責任を負うものではありません。また、いかなる場合でも弊センターは、利用者が本情報を利用して被った被害、損失について、何ら責任を負いません。